しまじりあまかー
島尻天川節

（本調子）

1．天川(あまかわ)ぬ池(いち)やヨ　(アヌンゾヨー　近寄(ちかゆ)ティ話(はな)サナヤ　シタリヨーンゾ　ハイヤ　イヤーサー)

2．千尋(しんぴる)ん立(た)ちゅらヨ (アヌンゾヨー　近寄ティ話サナヤ　シタリヨーンゾ　ハイヤ　イヤーサー)

3．うりゆいん深(ふか)くヨ (アヌンゾヨー　近寄ティ話サナヤ　シタリヨーンゾ　ハイヤ　イヤーサー)

4．思(うむ)てぃたぼれヨ (アヌンゾヨー　近寄ティ話サナヤ　シタリヨーンゾ　ハイヤ　イヤーサー
ササイヤサヌサー)

＊2番の囃子に (アヌ舞(も)ウヤヨ　目眉(みまゆ)ヌ美(ちゅ)ラサヌヨ　シタリヨーンゾ　ハイヤ　イヤッサ) を使うこともある。

＜解説＞

天川の池は　千尋も深い　それよりももっと深く　私を思ってください

昔、恋の交歓は皆が集まる「カー」と呼ばれた水場 (泉、池) で深められました。
この曲は天川を舞台に繰り広げられる激しい恋の掛け合いを唄ったものです。
雑踊(ぞううどぅい)という分野の舞踊曲で、舞踊の時は「加那(かな)よー」という曲とペアで上演されます。

＜舞踊＞

島尻天川節 （本調子） 尺 ＝ 尺と尺#の間

歌：合 乙 老 四 上 尺 工 五 六 七 八

工 尺上 四上 尺工 老工 六工 老四 老四 工乙 四乙 乙四 尺上 四乙 四乙 尺合 上工 尺上 工合 老四 上

1. 天川ぬ池やヨ
（アヌンゾヨー 近寄ティ話サナヤ
シタリヨーンゾ ハイヤイヤーサー）
2. 千尋ん立ちゅらヨ
3. うりゆいん深くヨ
4. 思てぃたぼれヨ
（アヌンゾヨー 近寄ティ話サナヤ
シタリヨーンゾ ハイヤイヤーサー
ササイヤサヌサー）

① 合 老上 老尺 老上 老四 老四 工乙 尺乙 尺四 老四 老四 上四 老四 乙
あ ま あ あ あ あ あ あ か あ
し ん ん い い い い い ぴ い
う り う う う う う う ゆ う
む う う う う う う ぃ い

② 合 尺合 上合 尺合 上合 尺合 上合 老四 老四 老上 老上 四老 尺老 尺四 老上 老上 老
あ わ あ あ あ あ あ ぬ う う
い る い い い い い ん ん ん
い い あ い い い い ぼ お お

③ 尺 老工 老尺 老工 老尺 老工 老尺 老工 老工 五工 老工 尺上 老上 老尺 老工 老尺 老
いたふた

④ 工 老工 老工 老工 五七 七工 五七 四七 四七 四七 四七 四七 四七 四七 四七 四七 四
ちちゅかぼ

⑤ 七 四七 四七 四七 四五 七工 五尺 老工 老工 五工 老工 尺上 老上 老上 尺上 老上 老
やらくれ

⑥ 四 老四 工老 尺老 尺工 尺合 上合 尺合 老四 老上 老尺 老工 五工 老工 尺上 老四 老
あ よ お お あ ぬ ん ぞ よ お お お お お

⑦ 四 上四 老四 乙合 尺合 上合 尺合 老四 老四 工乙 尺乙 尺合 上合 老五 老工 老工 五
ち か ゆ てぃ いは な さ な や あ あ し た りよ おん ぞ

⑧ 1～3番
工 老四 工乙 尺乙 尺四 尺
はい やい や さ あ

4番
⑨ 工 老工 尺上 老上 尺工 老工 五四 工乙 尺乙 尺四 尺
はい やい や さあ さ さい やさ ぬ さ あ